

化学で  
未来を  
変えるの

DA

## DAICEL TODAY

株主の皆様へ

第153期 中間報告書

2018年4月1日～ 2018年9月30日

特集

### ダイバーシティ推進

お互いに認め合い切磋琢磨することで  
新しい価値を生み出していく

**100<sup>th</sup>**  
Surprise! DA future.

2019年、ダイセルは100周年を迎えます。



平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ダイセルグループの第153期(2019年3月期)中間期の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長 **札場 操**

## 新規事業の 創出と育成へ投資し、 持続的成長を実現します

大阪北部地震以降、平成30年7月豪雨、台風21号、平成30年北海道胆振東部地震など各地で大きな災害が発生し、被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心よりお祈り申し上げます。

### ▶2019年3月期中間期の業績について

—販売数量の増加や販売価格の改定などにより増収となったものの、**原燃料価格の上昇や研究開発費の増加などにより、営業利益は減益となりました。**

当中間期の世界経済は、米国を中心に景気の回復が続くとともに、日本経済においても、景気の緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の深刻化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、エンジニアリングプラスチックや酢酸をはじめとする有機合成品、機能品などの販売数量を伸ばすとともに、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定にも取り組んでまいりました。

その結果、当中間期の業績は、売上高では2,352億円と、前年同期と比較して増収となったものの、営業利益は295億円となり、原燃料価格の上昇や、将来に向

けた研究開発や基盤強化などの費用増加により減益となりました。営業外損益は、為替差益などでプラスとなりましたが、経常利益は322億円と、前年同期比で減益となりました。特別損益は、台風などの自然災害の影響を受けたものの、投資有価証券の売却などによる特別利益の計上で、親会社株主に帰属する四半期純利益(最終利益)は224億円と、前年同期比で増益となりました。

#### ■ 2019年3月期中間期業績概要 (単位: 億円)

	2018年 3月期 中間期	2019年 3月期 中間期	増減	増減率
売上高	2,290	<b>2,352</b>	<b>+62</b>	<b>+2.7%</b>
営業利益	315	<b>295</b>	<b>-20</b>	<b>-6.3%</b>
経常利益	331	<b>322</b>	<b>-9</b>	<b>-2.7%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	196	<b>224</b>	<b>+28</b>	<b>+14.4%</b>

#### ▶ 株主還元について

##### 一 中間配当は1株当たり16円。 自己株式の取得を実施中です。

当社では、連結業績を反映した配当と、より強固な収益基盤を確立するための内部留保の充実を総合的に勘案した、バランスのとれた利益配分を基本方針としております。

当中間期の配当につきましては、期初予想通り1株当たり16円とさせていただきます。年間配当につきましては前期と同額の1株当たり32円を予想しております。

また、5月に決定した100億円(上限)、830万株(上限)の自己株式取得を実施中です。

#### ▶ 2019年3月期の業績見通しについて

##### 一 前期と比較して増収減益の予想ですが、 期初の見通しと比較して、 減益幅は縮小される見込みです。

当初の通期見通しでは、エンジニアリングプラスチックを中心に販売数量増加を見込むものの、たばこフィルター用トウの市況軟化や、インフレータの販売品種構成の変化、今後の成長のための研究開発費の増加などにより、増収減益としていました。これらの要因に変更はないものの、有機合成、火工品の中間期までの業績が見通しを上回ったことや、第3四半期以降の酢酸市況の前提を見直したことなどにより、通期業績見通しを上方修正しました。営業利益、経常利益の減益は変わらないものの減益幅が縮小し、最終利益は増益となる見通しです。

当社グループは、2019年に創立100周年を迎えますが、これまで築いてきたお客様や取引先様との信頼関係をベースに、さらなる飛躍を目指してまいります。安全と品質を変わらぬ事業基盤として、さらにこれを強固なものとし、新しい事業の創出、育成にも積極的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 2019年3月期(第153期)中間期実績

販売数量の増加や販売価格の改定などにより増収となったものの、  
原燃料価格の上昇や研究開発費の増加などにより、営業利益は減益となりました。

売上高  
**2,352**億円  
(前年同期比2.7%増)

営業利益  
**295**億円  
(前年同期比6.3%減)

経常利益  
**322**億円  
(前年同期比2.7%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益  
**224**億円  
(前年同期比14.4%増)

## 2019年3月期(第153期)通期見通し

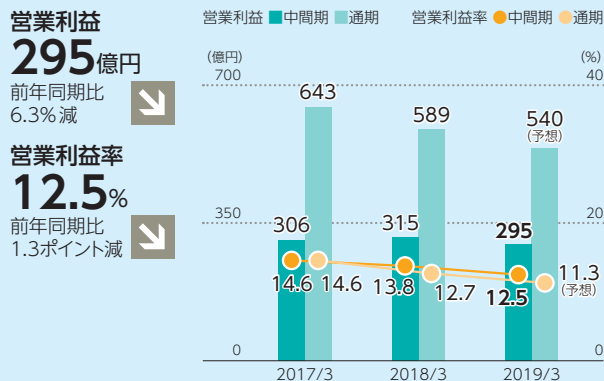
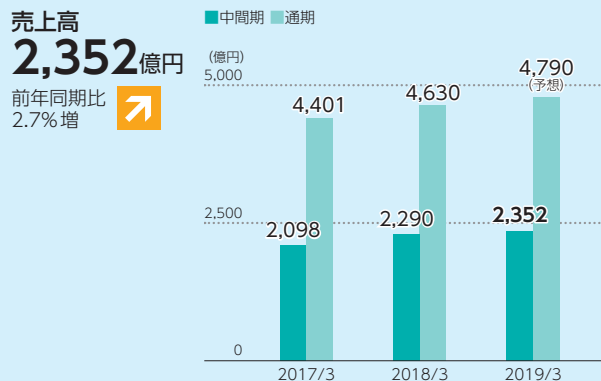
売上高  
**4,790**億円  
(前年同期比3.5%増)

営業利益  
**540**億円  
(前年同期比8.4%減)

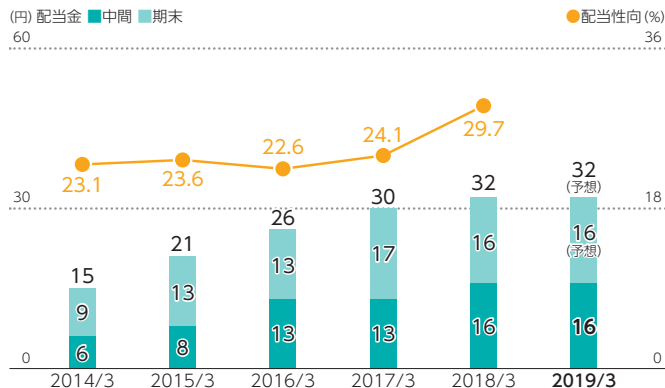
経常利益  
**580**億円  
(前年同期比5.1%減)

親会社株主に帰属する当期純利益  
**400**億円  
(前年同期比7.9%増)

### 中間決算ハイライト



## 株主還元について



### 中期計画3D-Ⅲでの目標 ▶▶ 配当性向 30%

830万株、100億円を上限とする自己株式取得を実施中です。  
(取得期間：2018年5月～2019年3月)

## TOPICS

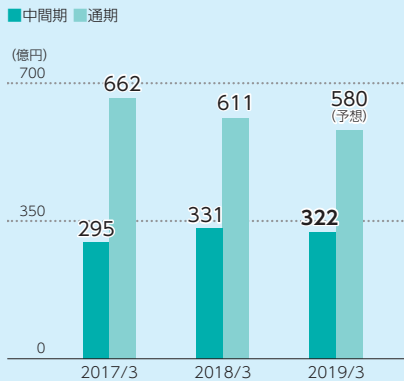


IR活動の詳細につきましては、  
当社IR情報サイトをご参照ください。

<https://www.daicel.com/ir/>

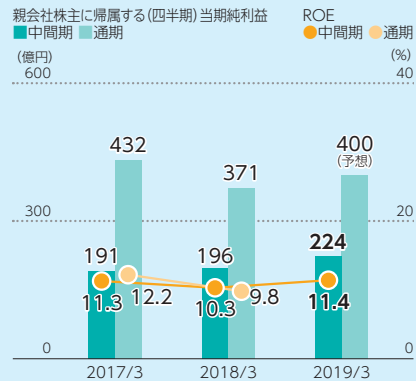
ダイセル IR 検索

経常利益  
**322**億円  
前年同期比  
2.7%減



親会社株主に帰属  
する四半期純利益  
**224**億円  
前年同期比  
14.4%増

ROE  
**11.4%**



## セグメント別事業概況

売上高  
構成比

17.9%

19.2%

営業利益  
構成比

22.9%

18.7%

### セルロース事業部門

#### 主要製品

- 酢酸セルロース
- たばこフィルター用アセテート・トウ
- 水溶性高分子



### 有機合成事業部門

#### 主要製品

- 酢酸および有機合成品
- 有機機能品
- 光学異性体分離カラム



#### 事業概況

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途の販売数量が微減となったものの、その他用途が増加したことにより、売上高は横這いとなりました。たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓に取り組んだものの、市況軟化の影響や、一部販売時期ずれなどによる販売数量の減少により、売上高は減少しました。原燃料価格の上昇や市況軟化の影響などにより、営業利益は減少しました。

#### 事業概況

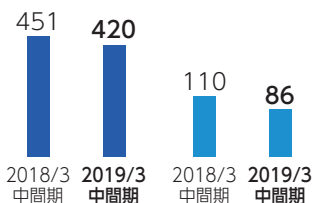
酢酸は、堅調な需要や市況上昇の影響などにより、合成品は、販売数量の増加や市況上昇の影響などにより、それぞれ売上高は増加しました。機能品は、前年度の過酢酸製造プラントでの火災事故による影響からの回復に加え、原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定や、コスメ・ヘルスケア分野の需要が好調に推移したことなどにより、売上高は増加しました。キラル分離事業は、カラムや充填剤の販売が増加したことや、インドでの新規事業が伸びたことなどにより、売上高は増加しました。販売数量の増加や原燃料価格の上昇に伴う販売価格の改定の影響などにより、営業利益は増加しました。

#### 売上高

420億円

前年同期比6.7%減

■売上高(億円) ■営業利益(億円)



#### 営業利益

86億円

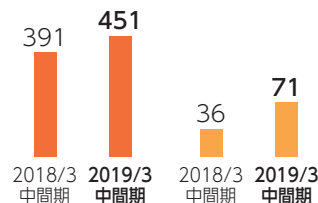
前年同期比22.2%減

#### 売上高

451億円

前年同期比15.4%増

■売上高(億円) ■営業利益(億円)



#### 営業利益

71億円

前年同期比95.5%増

■セルロース事業部門 ■有機合成事業部門 ■合成樹脂事業部門 ■火工品事業部門 ■その他部門

※営業利益構成比は、調整額を除いて算出してあります。

38.1%

23.6%

31.6%

26.2%

## 合成樹脂事業部門

### 主要製品

- エンジニアリングプラスチック
- 樹脂コンパウンド製品
- 合成樹脂成形加工品



## 火工品事業部門

### 主要製品

- 自動車エアバッグ用インフレーター
- 防衛関連製品



### 事業概況

エンジニアリングプラスチック事業は、自動車部品の需要増加や新規採用が進んだことによる販売数量の増加、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加しました。樹脂コンパウンド事業は、原燃料価格上昇に伴う販売価格の改定などにより、売上高は増加しました。樹脂加工事業は、主にフィルムの販売が増加し、売上高は増加しました。販売数量は増加したものの、原燃料価格上昇の影響などにより、営業利益はほぼ横ばいとなりました。

### 事業概況

自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)などの自動車安全部品事業は、インフレータの販売数量は増加したものの、販売品種構成の変化などにより、売上高は微減少しました。防衛関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少しました。販売品種構成の変化などにより、営業利益は減少しました。

### 売上高

896億円

前年同期比7.0%増



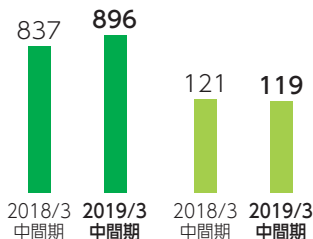
### 営業利益

119億円

前年同期比2.1%減



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



### 売上高

555億円

前年同期比4.4%減



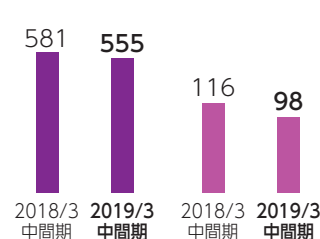
### 営業利益

98億円

前年同期比15.7%減



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



その他部門 売上高 30億円(前年同期比2.2%減) 営業利益 2億円(前年同期比19.2%減)

特集  
inside DAICEL

# ダイバーシティ推進

～お互いに認め合い切磋琢磨することで新しい価値を生み出していく～

## ダイバーシティに関する社内向け講演会を実施

10月に、トップマネジメントを対象にした「経営戦略としてのダイバーシティ&働き方改革」と題する講演会を開催し、社長の札幌をはじめ取締役、執行役員、グループ企業社長、労働組合役員65名が参加しました。ダイバーシティ推進をテーマとした講演・研修でご活躍されている植田寿乃氏をお招きし、「なぜ女性活躍推進や働き方改革が必要なのか」、「より元気な会社になるための個人の意識改革」などのテーマでご講演いただきました。講師のエネルギーあふれる講演に熱心に耳を傾けるとともに、講演の途中で互いの気づきを交換する場面では、あちこちで賑やかに意見共有する様子が見えました。



講師の植田寿乃氏



講演を受けてダイバーシティ、働き方改革に対する考えが変わったと答えたのは、参加者の93%にのぼり、「個人の意識の重要性を感じた」、「自分のワークライフバランスを改めて考える必要性を感じた」、「女性ならではの気づきがあることや若手の考え方を理解しようと思った」など、個人の意識を変える必要性を認識していました。

なお、イノベーション・パーク(兵庫県姫路市)に在籍するリーダー職に対しても同様の講演会を7月に開催しており、性別・年齢による価値観の違い等ダイバーシティの重要性について、改めて多くの気づきを共感していました。今後も、同様の講演会をリーダー層や女性向けに開催するなどして、全社的に意識醸成をはかっていきます。



イノベーション・パークで行われた講演会の様子



ダイセルグループ行動方針で、ダイセルグループで働くすべての人の多様性、人格、個性を尊重し、差別やハラスメントのない健康で働きやすい職場環境を確保することを定めており、ダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいます。海外現地法人でも、差別のない採用を行っており、世界各国でダイセルスピリッツを持った人材を育成しています。特に、女性活躍推進、障がい者雇用、シニア人材の活躍推進において目標設定や環境整備を行い、多様性を尊重する職場環境やマインドの形成を推進しています。



目標などの詳細はこちら >>

## 理系女子学生向け「2018リケジョ交流会」の開催

11月に、女性技術者の育成を支援し、ひいては女性社員割合の向上とダイバーシティ経営を一層推進していくために、理系女子学生を対象とした当社の見学会「2018リケジョ交流会」を開催しました。実際に働き始めてからのイメージを持っていただけるように、当社網干工場やイノベーション・パークでの社員の様子や雰囲気をご覧いただくとともに、女性社員のキャリアパスや柔軟な働き方を推奨する当社の制度を紹介しました。



また、ダイセルグループで働く女性社員との交流の機会として座談会も行い、仕事とプライベートの両立などについて意見交換しました。ワークもライフも充実させている“先輩”女性の様子を実際に見たり聞いたりすることで、働くことに対する不安を解消できたと好評を得ました。



## 「ダイバーシティ推進担当」

ダイバーシティに対する社会の関心が高まるなか、ダイセルでも「柔軟な働き方に向けた制度拡充」「優秀な女性人材の確保と育成」「働き方に対する意識改革」の観点でダイバーシティ推進に取り組んでいます。2018年5月にはダイバーシティ推進チームを新設し、「社員一人ひとりが自己の能力を発揮できる働きやすい企業」に向けて、全社目標や活動計画の策定、全社活動の推進に取り組んでいます。

**ダ**イバーシティの推進には、働きやすさ向上のための勤務制度の拡充や、意識改革のための研修制度の充実などと併せて、社員一人ひとりの課題に丁寧に対応し、組織の中で個人の夢を実現していくことが重要です。ダイセルグループの持続的成長の基盤となる「社員一人ひとりが自己の能力を発揮できる職場づくり」にこれからも取り組んでまいります。



### 浅井 種美

㈱ダイセル 品質監査室首席部員  
兼 人事グループ  
ダイバーシティ推進担当リーダー  
総合研究所勤務等を経て2015年に品質監査室首席部員、2018年5月にダイバーシティ推進担当リーダーを兼務。

## DAICEL TOPICS 1

# 新規事業の成長を加速させています

8月1日付で、ドイツの医薬品開発製造受託企業(CDMO)のLomapharm社の株式を100%取得しました。医薬品やサプリメントの製造用原料として「グランフィラー D®」「スウェルウィック®」などのプレミックス型添加剤を中心に事業展開しているなか、本買収により製剤分野へ事業領域を拡大するとともに、添加剤事業を成長させていきます。

9月13日に、当社製ウエハーレベルレンズを活用した光学製品の設計開発・販売を行う拠点として、台湾にDaicel Micro Optics Co. Ltd. を設立しました。半導体関連の製造拠点が集積する台湾において、センシングデバイスに関わる先端ニーズに密着した開発を行い、光学製品事業の拡大を図ります。

もうすぐ100周年!

## DAICEL TOPICS 2

# BSテレビ番組で祖業であるセルロイド事業を紹介しました

10月28日、「アメリカ帰りのセルロイド人形～明治日本モノづくりの挑戦～」と題したテレビ番組をBS-TBSで放映し、当社の祖業であるセルロイド事業創生の経緯などを紹介しました。番組は、100年ぶりにアメリカから日本に帰国したセルロイド人形をきっかけにはじまり、セルロイド事業の創生に心血を注ぎ、世界に誇る先端産業へと導いた初代社長 森田茂吉のエピソードや現在の技術開発の成果で構成されました。

QRコードから動画をご覧ください! (YouTubeにリンクします) >>



**100<sup>th</sup>**  
Surprise! DA future.

## 100周年ロゴを制定しました

当社が2019年に100周年を迎えることを広く知っていただくために、100周年ロゴを制定しました。

## DAICEL TOPICS 3

# ガンバ大阪の試合で、 ダイセルパートナーデーが開催されました

7月28日、パナソニックスタジアム吹田でのガンバ大阪対鹿島アントラーズ戦において、ダイセルパートナーデーが開催されました。スタジアム内で様々なイベントを行い、当社のPRに努めました。また、福利厚生の一環として、入場する選手を間近で見ることができるメインスタンド内の席を社員向けに準備し、サポーターの皆さまと一丸となってガンバ大阪を応援しました。



ゴール裏 全面LED看板広告



スタジアム内  
大型ビジョンCM

### 当日実施した主なイベント

- 当社の創立99周年を記念して、サポーター先着990名に選手サイン入りグッズなどが当たる抽選会を実施
- サポーターの中から3名に、選手サイン入りのDAICELオリジナルポロシャツをプレゼント
- ゴール裏全面のLED看板広告、スタジアム内のデジタルサイネージや大型ビジョンへのロゴやCM映像の掲出
- 当社ヘルスケア商品の展示と即売会

2018シーズンより、当社はJリーグ・ガンバ大阪のダイヤモンドパートナーです。

## DAICEL TOPICS 4

# 「化学の子ども化学 実験ショー2018」に出展しました

10月20日、21日に、当社が加盟する日本化学工業協会や関西化学工業協会などが開催する「化学の子ども化学実験ショー 2018」が神戸国際展示場で開催され、「カラフルビーズをつくろう」という企画で出展しました。



# CSR

## 「平成30年7月豪雨」の被害に対する支援を行いました

西日本を中心に降り続いた記録的な大雨（「平成30年7月豪雨」）により被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様にお悔やみ申し上げます。

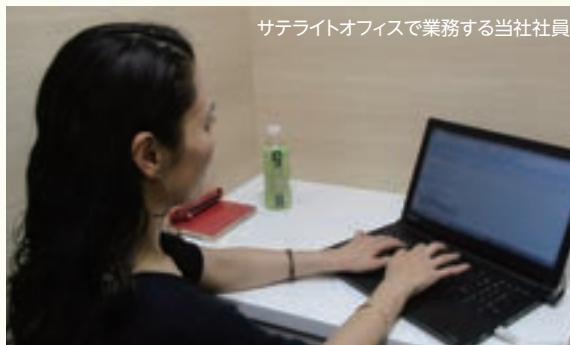
被災者救援や被災地復興支援に役立てて頂くため、ダイセルグループとして、2,000万円の義援金を拠出し、また、ダイセルグループの役員、従業員による募金額と同額を上乗せして寄付するマッチング・ギフトを実施しました。

被災地の皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## 「テレワーク・デイズ（働く、を変える日）2018」に参画しました

政府が「働き方改革」の一環で展開する「テレワーク・デイズ（働く、を変える日）2018」（期間：7月23日～27日）に実施団体として参画しました。

当社では、テレワーク・デイズ期間中、93名の社員が在宅勤務やサテライトオフィス勤務にチャレンジし、参加者からは「仕事に集中できた」「通勤や移動時間の削減により時間を有効活用できた」「通勤ラッシュを回避でき、心身の負担軽減につながった」との感想がありました。今後も、柔軟な働き方を推進していくことを目的に、社外でも支障なく業務ができる環境整備などに引き続き取り組んでいきます。



サテライトオフィスで業務する当社社員

CSR活動の詳細につきましては、当社CSR情報サイトをご参照ください。

<https://www.daicel.com/csr/>

ダイセル CSR

検索

より詳細なデータにつきましては、当社IR情報サイトをご参照願います。

<https://www.daicel.com/ir/irlibrary.html>

		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期
		中間期	通期	中間期	通期	中間期
売上高	(億円)	2,098	4,401	2,290	4,630	<b>2,352</b>
営業利益	(億円)	306	643	315	589	<b>295</b>
営業利益率	(%)	14.6	14.6	13.8	12.7	<b>12.5</b>
経常利益	(億円)	295	662	331	611	<b>322</b>
親会社株主に帰属する (四半期)当期純利益	(億円)	191	432	196	371	<b>224</b>
総資産純利益率(ROA)	(%)	6.9	7.4	6.3	6.0	<b>7.0</b>
自己資本純利益率(ROE)	(%)	11.3	12.2	10.3	9.8	<b>11.4</b>
自己資本比率	(%)	62.1	61.6	59.7	60.1	<b>61.8</b>
総資産	(億円)	5,419	5,997	6,500	6,403	<b>6,467</b>
純資産	(億円)	3,623	3,994	4,155	4,135	<b>4,292</b>
1株当たり(四半期)当期純利益	(円)	54.91	124.61	56.56	107.81	<b>66.25</b>
1株当たり純資産額	(円)	971.57	1,067.63	1,122.60	1,136.32	<b>1,193.13</b>
1株当たり配当金	(円)	13	30	16	32	<b>16</b>
配当性向	(%)	—	24.1	—	29.7	—

## 用語解説

### ■総資産純利益率(ROA: Return On Asset)

純利益を総資産で割ったものであり、事業に投下した資産がどれくらい利益を生み出したかを表す。

親会社株主に帰属する  
当期純利益  
——  
総資産

### ■自己資本純利益率(ROE: Return On Equity)

純利益を自己資本で割ったものであり、株主から拠出された資金を活用して、どれくらい利益を生み出したかを表す。

親会社株主に帰属する  
当期純利益  
——  
自己資本

## 会社概要 (2018年9月30日現在)

**商号** 株式会社ダイセル  
**英文商号** Daicel Corporation  
**大阪本社** 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1  
 (グランフロント大阪 タワーB)  
 Tel. 06-7639-7171  
**東京本社** 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1  
 (JR品川イーストビル)  
 Tel. 03-6711-8111  
**設立** 1919年9月8日  
**資本金** 362億7,544万89円  
**従業員数** 連結:12,547名 単独:2,430名  
**役員**

### 取締役

代表取締役社長 札幌 操\*  
 代表取締役 福田 眞澄\*  
 取締役 小河 義美\*  
 取締役 西村 久雄\*  
 社外取締役 近藤 忠夫  
 社外取締役 野木森雅郁  
 社外取締役 岡本 囀衛  
 社外取締役 北山 禎介  
 \*執行役員兼務者

### 監査役

常勤監査役 井口 友二  
 常勤監査役 榊田 宏安  
 社外監査役 高野 利雄  
 社外監査役 市田 龍  
 社外監査役 水尾 順一

### 執行役員

社長執行役員 札幌 操  
 専務執行役員 福田 眞澄  
 専務執行役員 小河 義美  
 常務執行役員 西村 久雄  
 常務執行役員 Dieter Heckmann  
 常務執行役員 児島 秀景  
 常務執行役員 上野 貴史  
 常務執行役員 今中 久典  
 常務執行役員 杉本幸太郎  
 常務執行役員 榊 康裕  
 常務執行役員 白子 直秀  
 執行役員 阪本 聡  
 執行役員 吉野 幸男  
 執行役員 辻 康雄  
 執行役員 高部 昭久  
 執行役員 八木 幹夫  
 執行役員 川口 尚孝  
 執行役員 藤田 眞司  
 執行役員 丸山 浩一  
 執行役員 林 仁志  
 執行役員 高橋 郁夫  
 執行役員 藤尾 正昭  
 執行役員 飯山 尚志  
 執行役員 小島 昭男  
 執行役員 田鹿 治美

## 株式情報 (2018年9月30日現在)

### 株式の状況

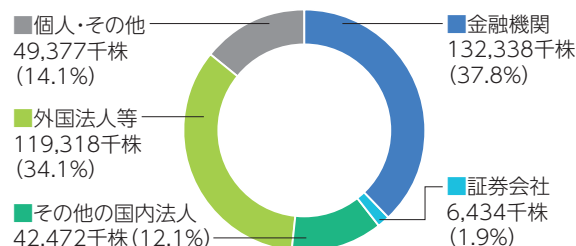
**発行可能株式総数** 1,450,000,000株  
**発行済株式の総数** 349,942,682株  
**株主数** 16,929名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	21,193	6.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,773	5.30
日本生命保険相互会社	17,402	5.19
トヨタ自動車株式会社	15,000	4.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	8,069	2.40
全国共済農業協同組合連合会	7,779	2.32
株式会社三井住友銀行	7,096	2.11
株式会社三菱UFJ銀行	6,503	1.94
富士フィルムホールディングス株式会社	5,769	1.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	5,718	1.70

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算出し、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

### 所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日より翌年3月31日まで

**定時株主総会** 6月中

**基準日** 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 〒540-8639  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵便物送付先  
(電話照会先)** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および  
全国各支店で行っております。

**単元株式数** 100株

**上場証券取引所** 東京

**公告方法** 電子公告  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社のホームページに掲載して行います。

## 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。お届出がお済みでない株主様は、お取引の証券会社等の口座管理機関へお届出ください。

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

### マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- ▶ 証券口座にて株式を管理されている株主様  
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ▶ 証券会社とのお取引がない株主様  
下記までお問い合わせください。  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

## お知らせ

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がない株主様(特別口座をご利用の株主様)は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

# 株主様向け 施設見学会の ご報告

株主の皆様にご報告です。当社グループの企業理念や事業内容について理解を深めていただくために、9月14日、イノベーション・パーク(iPark、兵庫県姫路市)の見学会を開催しました。iParkの中核である執務棟「アイ・キューブ(iCube)」では、研究開発、生産技術、エンジニアリング、環境・安全などの技術スタッフが同じ執務室で仕事をするとともに、社外のパートナーと協業できるオープンラボを活用することで、新規事業の創出を加速しています。



▲挨拶するiPark所長 高橋

START

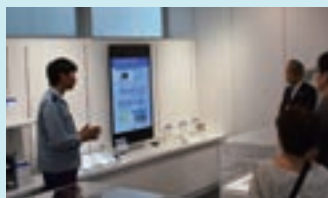
お越しいただいた株主の皆様へ、5階の見晴らしのいいカフェテリアで、ランチメニューからお好きなものをお召し上がりいただき、普段の昼食の雰囲気を感じていただきました。その後、見学会の開始にあたって、執行役員・iPark所長の高橋がご挨拶申し上げますとともに、当社の事業概要やiParkの設備についてご説明しました。

## 新規事業の開発現場に潜入①!

水なしでも飲める薬やサプリメントの錠剤、口腔内崩壊錠(OD錠)。このOD錠の原料となる賦形剤や製造技術の研究設備を見学いただくとともに、ビタミンC等のOD錠サンプルをお試しいただきました。



## 新規事業の開発現場に潜入②!



センシング技術に欠かせない小型で耐熱性のある樹脂製レンズの生産設備を見学いただき、エレクトロニクス領域での活躍が期待される当社の新製品をご覧いただきました。

ご見学の様子

当社の祖業であるセルロイド事業の創生にまつわるエピソードや、サンフランシスコ万博に展覧され100年の時を経て当社に寄贈された「セルロイド人形」をご紹介します。



見学会の  
終わりに

質疑応答の時間では、防災対策やコンプライアンスなどについてご質問いただき、想定外の事態でも事業継続できる体制整備に取り組んでいることや、当社のコンプライアンス活動をご説明しました。他にも、働き方改革や長期計画に関するご質問や、見学会を楽しみにしていたという嬉しいご感想も頂戴しました。今後も、株主様との貴重な対話の機会として今回のような株主様向け見学会を実施してまいります。



## 株式会社ダイセル



FSC®認証紙と環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。